



柿木図書館実習報告

図書館名	柿木図書館
期 間	令和元年7月1日 ~ 令和元年7月3日
学校・学年・人数	井荻中学校2年 3名
取り組んだ内容や感想など	<ul style="list-style-type: none">・ 普段利用者として来館する際の図書館と働く側から見る際の図書館では、大きな違いがあるということを学びました。たとえば、本棚などです。私達が普段来館するときにはきれいに本が並べられていて見やすいですが、その裏には職場の方の苦労があるんだということに気づかされました。今回体験させていただいたことをこれからの学校生活、また将来つく仕事に生かしていきたいと思います。・ 最初は、書架整理が慣れなくて慌てていたが、二日目、三日目と昨日よりできるようになって良かった。配本車で一つ一つのことをていねいに皆さんやっていて、「お客様のことを良く考えているんだ」と思った。
【質問】「杉並の図書館について、どう思いますか？」	<ul style="list-style-type: none">・ 杉並区の図書館は、色々なイベントも行っていたり、様々なサービスも行っているのでも、とても来やすい図書館だと思う。一番良いと思ったのは、小学校への支援をしているところです。ブックトークなどで小学生が本に興味を持つことは、とても良いことだと思います。・ 常にお客様のことを第一優先においていて、一つ一つがきちんとしていると思った。
中高生のおすすめの本と推薦文。	<ul style="list-style-type: none">・ 「ボッコちゃん」 星 新一著 私のおすすめの本は、星新一シリーズの「ボッコちゃん」という本です。この本は、いくつかの話に分けられていて、その中でも私は「殺し屋ですよ」という話を推薦します。この話の一番の見どころは、最後です。殺し屋と思われていた女性の本業、素顔が明らかになります。小学生とは違い、サスペンス、SFにも興味を持つ都市になると思います。そんな時にこの本を読んで楽しんでほしいです。・ 「精霊の守り人」 上橋 菜穂子著 私は上橋菜穂子さんの「精霊の守り人」シリーズを推薦します。このシリーズは、一時期実写化されています。なので、知っている人も多いはずですが。この物語は、主人公が用心棒をしながら父と養父の敵を取ったり、主人公の心境の変化を一冊でなく何冊も通して読み取っていく話です。